

道徳だより

令和8年2月27日発行

1年

題材名:三人の乗客

ねらい:理解し合うとは、自己中心的で相手の立場や事情に考えが及ばないという人間の弱さを含めて分か
り合うことであると自覚し、寛容の心をもって相互理解しようとする態度を育てる。

- ・一人一人事情があると思うし、何でも自分の思い通りにいくと思っていたらいけないから、お互いの立場になって、じっくり考えてから、言葉で伝えたり行動をしたりすることが大切だと思った。(1組)
- ・相手の気持ちを考えることが大切だと思うけれど、考えて行動したことが相手にとって嫌なこと
のときもあるので、完全に理解し合うことはできないと思う。でも、何も考えないよりは考えて
行動することの方がいいと思うので、少しでも相手のことを考えて行動すればいいと思う。
(1組)
- ・自分の事情だけで行動したり、言葉を発したりするのではなくて、相手のこととか、周りのこと
も考える必要があると思う。(2組)
- ・人の気持ちを考える力を持つことが必要だと思う。そのためには、視野を広げて人が傷つくこと
を言わないように配慮すべきだと思う。(2組)
- ・周囲の雰囲気や人の気持ちを察する力が重要だと思う。そうやって相手の気持ちを考えて行動す
ることが大切だと思う。(2組)

2年

題材名:避難所にて

ねらい:規則正しい生活を自ら確立することは、心身の健康の維持だけでなく日々の生活に活力を与え、充
実した生き方にも関わることを自覚し、節度、節制に心掛け、調和のある生活を送ろうとする態度
を養う。

- ・自助や共助で、自分のことだけでなく身近な人同士でも助け合って協力することが大事だ
と思う。他にも、避難指示がでたら自分が声をあげ率先して避難すれば、その姿に影響さ
れて他の人も避難するようになると思うので、その考えはいいなと思った。
- ・自分の身を守る、助けることももちろん大切だけど、近隣で逃げ遅れている人がいないか
なども確認しないといけないことが分かった。これからいつ地震が起こるのかわからない
ので、今のうちにいろんなことを確認して、いざというときに正しい行動ができるように
したい。
- ・「自助の考え方」では、災害が起きた時に自分の身を自分で守れるように食料や水などを
用意しておきたいし、もし震災が起きた時の行動の仕方とかも家族で決めておくことが大事
だと思った。「共助の考え方」では、逃げ遅れた人がいないか確認して、ボランティア活動
も意識していきたい。
- ・避難所では自分より困っている人がたくさんいるので、助けたいと思った。他には、小
さい子たちなどには一緒に遊んであげたい。この授業で学んだことを生かして、もしもの
ことがあったら、命を一番に考えて行動していきたい。
- ・災害が起こって避難所にいるとき、元気づけたり無理しないように地域と関わって
いたりすると思った。避難所に来る人たちは不安や心配などで体調を崩すと、「悲しい」
という気持ちをもっと積もると思うので、地域の人たちと関わる時はポジティブにして
いくといいと思う。

3年

題材名:生きてこそ—石井筆子の生涯—

ねらい:多くの人との関わりや経験を基に形作られる自分自身の信念をもつことが、気高く力強い生き方に
つながることの自覚を通して、信念をもってよりよく生きようとする実践意欲を育てる。

- ・「自分を信じてあげる」という信念をもって生きていきたいです。なぜなら、これからの高校生活などでやってみたいことや頑張りたいことがたくさんあって、それを自分が「できる」と信じていきたいからです。いつも自分でする前に諦めたり、1回失敗しただけで大きく落ち込んだりするので、それを乗り越えられるようになりたいです。自信をもつためにたくさん努力していきたいし、大きな夢をつくっていかうと思いました。(1組)
- ・今が1番大事だと思って生きていきたいです。生きているからできることがあったり、分かることがあったりするから、今できることを最大限できるようにしたいです。また、未来のことばかり考えていたら今を大切にできていないから、今いる家族とか、友達を大切にしていきたいです。(1組)
- ・私は中学卒業後、「今」から目をそらさないという信念をもって生きていきたい。なぜなら、変ええることができるのは「今」だけだし、「今」と向き合うことでとても悩むことが多くなると思うけど、それが未来の自分につながると思ったからだ。たくさん悩んだ経験があれば、困難があっても乗り越えられると思う。今の私は、何か良くないことが起こると、目をそらしてしまいがちなので、未来の自分のためにも、目をそらさずに一生懸命生きていきたい。(1組)
- ・人生は想像したくないことがたくさん起こるものなので、みんな嫌なことを経験しているから自分も悲しみや辛さに飲み込まれずに、前を向こうと思いました。ネガティブになることは悪いことではなくて、それを重ねて踏み台にして自分を強化し、成長させていくのが大切だということを心に留めておきながら、1度きりの人生を悔いなく終えることができるよう、気持ちをつくっていききたいと思います。(2組)
- ・勉強とか友達関係とかで悩んでもう嫌だなと思うことが今まで数えきれないくらいあったけど、そのときには相談できる大人がいたから救われたんだなと思いました。だからもし、頼れる大人がいなくても一人でも大丈夫って思えるように、これから嫌なことがあったらまず自分から行動して解決に向かいたいなと思います。(2組)
- ・今まで生きてきて辛いなと感じることはあったけど、筆子のような絶望のどん底におかされたことはないの、そのときはちゃんと立ち直れるか不安だなと感じました。落ち込んでばかりいても明るい未来はやってこないの、少し休んでもいいから、前を向いていきたいなと思いました。自分の人生を大事に歩めるように努力したいです。(2組)
- ・筆子さんのように、自分だけでなく常に誰かのためにアンテナをはれる人になりたいです。筆子さんほどの信念をもって生きることができないかもしれないけど、周りの人を大切に生きていきたいです。(3組)
- ・筆子さんのように信念をもった生き方をするために、周りの人たちの思いのためにできることをして生きていきたいです。(3組)
- ・筆子さんのように「自分を信じよう」とすることで、信念をもった生き方ができると思う。(3組)